（1990年７月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

8/1・15
2023
第８６４号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・増永浩子
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

2023人勧期闘争・中央行動

全職員の給与引き上げ実現へ

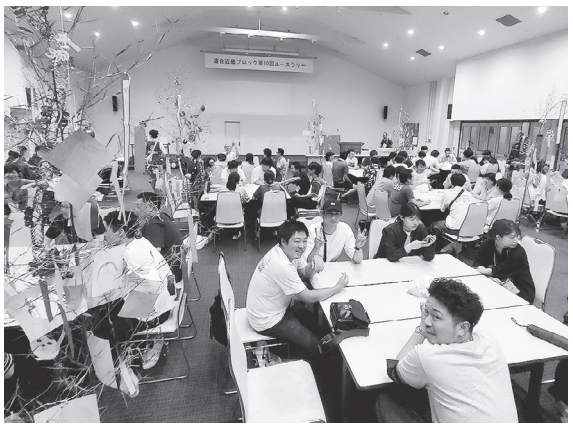
公務員連絡会は7月26日、全国から1500人の組合員を結集し、4年ぶりとなる人勧期中央行動を実施。京都から5人が参加した。人事院交渉の前進をめざして日比谷大音楽堂での中央集会や霞ヶ関を一周するデモ行進、人事院前での交渉支援行動を行った。最後に報告集会を行い、要求実現をめざし最後までたたかう決意を固めあった。

▲37℃を超す猛暑の中行われた中央行動

報告集会で森永事務局長は交渉の概要を報告した上で「30年ぶりの高水準といわれる民間の賃上げ妥結状況等を踏まえれば、極めて不満の残る交渉だが、現場の思いはしっかり伝えてきた。勧告日については例年同様という局長回答を得たため、8月7日の週の勧告を想定し、今後の交渉を強化していく。月例給に関して局長からは、民間の定期昇給を含む賃上げ率は30年ぶりの高水準であることや民間の一時金の状況は、昨年冬は大幅増、今年夏は横ばいであるという認識を示したものの、官民較差及び一時金については現在集計中であり、最終的にどのような結果になるか注視しているとの回答にとどまった。その上で月例給の改定に関して、個々の産業や企業によって様々な状況があり決して楽観できず厳しい認識を示すとともに、最終的な結果で改定を行う場合にも民間との初任給格差の課題は放置できず、初任給にかなり重点を置く対応を含めて検討していかなければならないという回答であった。この回答を踏まえれば、現段階で較差が明らかになっておらず、中高年齢層でどこまでどの程度配分できるのか、まさに正念場を迎える。いずれにせよ、あくまで全職員に対する月例給の引上げ勧告を追求し、最後まで交渉に全力を挙げて取り組む」とし、今後の交渉に向けた決意を明らかにした。

仲間との交流深める

連合近畿ブロックユースラリー



府本部青年部は7月7日から9日までの3日間、和歌山県・白浜町で開催された連合近畿ブロック第10回ユースラリーに2名が参加した。

参加者は最初に10班に分けられ、この3日間は各班で行動した。連合本部の山根木晴久副事務局長による本部講演や白良浜の清掃活動など参加者同士の交流を深めるために企画された様々なイベントが行われた。

初日は七夕ということもあり、各々の願いを込めた短冊の作成やバーベキュー等をして班の親睦を深めた。2日目は、和歌山県の世界遺産・熊野古道の修繕活動である「道普請」の目的や昔ながらの補修方法について学んだり、白浜町内の17ヵ所のスポットを各班で回るフィールドワークを行った。白浜町の素晴らしい景色や様々なスポットを回ることで、班員との結束を深めることができた。3日目はユースラリーのまとめとして、各班で撮影した深イイ写真を使いながら発表会を行った。和歌山ならではの風景写真や班の交流が深まった写真等各班の個性が出るような楽しい写真が発表された。

今回のユースラリーに参加し、仲間同士の交流やネットワークの構築、労働運動への意識を向上することができた。これからも労働組合の役員としての視野を広げ活動していきたい。（自治労京都市職・岩井真人）

相談窓口の更なる周知を要請

府男女共同参画課と交渉

府本部男女平等推進闘争委員会は7月19日、男女平等推進月間の6月に京都府男女共同参画課へ提出した京都府知事宛て「男女平等社会実現を求める要求書」に対する回答交渉に臨んだ。交渉は京都府庁で行い、京都府文化生活部から3人、府本部から6人が参加した。

府本部からの15項目の要求に対し、文化生活部の西村副部長（府民生活・男女共同参画担当）から、市町村の条例・計画や京都府の取り組み状況と市町村に対する助言や連携などについて回答があった。

府内の男女平等に関する条例・計画の推進について、府は「19年度に策定した『京都府女性活躍応援計画』により、各団体における女性参画の進捗を検証しており、市町村においても同様の計画が策定、実施されるよう連携を図っていきたい」と回答。また、あらゆるハラスメントの根絶については、「ハラスメント防止にむけては、京都ジョブパーク企業応援団によるスーパーバイザー等が企業訪問し、周知啓発を行っており、引き続き粘り強く取り組んでいく」と述べた。

府本部は、「女性参画については計画策定だけでなく、その後のチェックが重要となる。引き続き市町村の状況把握や助言等を求める」と訴えた。また「各種相談窓口や女性等の弱い立場の方への施策が図られ、連合や自治労の要請もあり相談件数も増えている。本当に必要とする人への更なる情報の周知をお願いしたい」と要請した。パートナーシップ制度や選択的夫婦別姓制度については、国の動向が大きく影響するため、京都府から国へ前向きな働きかけを行うよう求めた。

健康で生き生きと働き続けるために

府本部臨職評夏期学習会

府本部臨職評は7月9日、ウイングス京都にて夏期学習会を開催。4単組19人が参加した。

学習会は、健康でいきいきと働き続けることを目的に、インストラクターの安里寛子さんを講師にピラティス講座を行った。安里さんは心と身体を緩めることをコンセプトに活躍されており、話は的確で分かりやすく、正しい呼吸法や身体の使い方を学ぶことができた。また自宅でもできる簡単なストレッチを伝授。朝身体を起こす前にほぐしてから起き上がることで心と身体を緩めることができることなども教えていただいた。

ピラティスで身体を動かした後は近くのレストランでランチ会。レストランのガラス越しには畑も見え、街中にいることを忘れるような空間で、野菜本来の味を生かしたカジュアルフレンチの料理をいただきながら様々な職種の会計年度任用職員同士で意見交換をおこなった。

天橋立クリーン大作戦&交流BBQ大会

日　時：9月23日(土・祝) 10：00～15：00
場　所：宮津市・天橋立公園
BBQ：京丹後市・セントラーレホテル京丹後
参加対象：自治労組合員（家族もOK）
※参加申し込みは所属の組合まで

交思双

梅薫る季節に紀州・徳川家の居城「和歌山城」を訪れた。整然とした区割り。豊かな水を湛える堀。天下普請を彷彿とさせる石垣群。天守閣からの絶景。どこから見ても流石、徳川御三家と思わせる往時の威厳を今に残している▼それと同様に目を見張ったのが城郭内にある「和歌山城公園動物園」。推定年齢30歳、巻き爪が悩みのツキノワグマのベニーちゃんが、市民のふれあいの場の園長として活躍中だ▼さて、和歌山大空襲で焼失し戦後、市民要望で再建された連立式天守は、資料館として豊臣後期から幕末期までの貴重な調度品を展示している。一つひとつ眺めていると当時の生活様式、人々の郷土愛、藩主への忠誠心などが伝わってくる▼最後の藩主・徳川茂承（もちつぐ）も主従関係を大切にしていたようで、藩主最後の日にこれまでの感謝の気持ちにと家臣団へ「最後の扇子」を配った▼幾多の戦禍を潜り抜けて大切に保管されてきた陳列ケース越しの扇子は、私たちに時代が変われども人の心は普遍である事を教えてくれている。（英）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

夏休み特別企画・めぐるちゃんをぬり絵して、図書カード（500円分）をGETしよう

公企評は、8月1日の「水の日」にちなんで、毎年水の大切さを啓発する「水週間」に取り組んでいる。下記QRコードから、ぬり絵原本（①こどもの部（12歳以下・この機関紙でも可）、②おとなの部（13歳以上））と応募用紙をダウンロードし、必要事項を記載し府本部まで郵送で送付をお願いしたい。応募締切8月24日（木）府本部必着。応募者の中から抽選で20名様に図書カード（500円分）を進呈する。多数の応募をお願いしたい。

【送付先】〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側 NHKビル2F 自治労京都府本部「自治労水週間ぬり絵コンクール」まで

こどもの部
応募フォーム 水週間ぬり絵

作品名		連絡先住所	tel:(　　)　　-
ふりがな 名前			
年齢		創作イメージ	
所属単組			

水週間WEBページ